

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体等を紹介します。

■ 土師ひやくしょう塾 ■

代表者 石崎俊男(土師)
設立 平成16年1月
会員 20名



会員の皆さん



石崎俊男さん(会長)より

私たちの塾は、あえて「百姓塾」ではなく「飛躍しょう」という意味を込め、漢字ではなく「ひやくしょう塾」としています。農家の後継者、自営業者、会社員など、さまざまな仕事を持った会員が集まって活動しています。ボランティア活動を主としており、各行事の参加は決して強制ではなく、会員の自主性にまかせています。県の道路里親制度、河川愛護の堤防の除草等の活動にも常に15名からの自主参加があり、会員の方々には感謝しています。

これからの目標としては、涸沼川と桜川の豊かな水と、肥沃な水田を利用した「メダカのリ」作りを考えています。また、水車を作り、休耕田を利用して地域に群生する草花を植え、少なくなりつつある子どもたちと水遊びをしたいと考えています。笠間市に「土師地区」あり、と思われるような地域づくりを目指したいと思います。

「美しい土師」を目標に活動しています

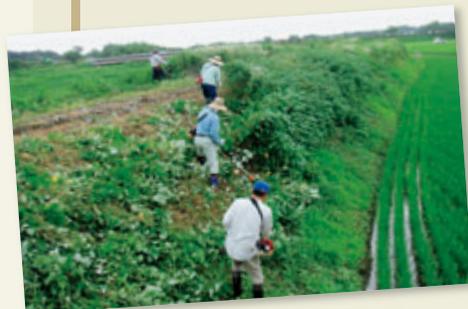
平成16年1月に、会員20名で発足しました。偶数月の第1土曜日に定例会を開き、意見を出し合って活動内容を決定しています。運動広場の藤棚の設置、子ども会の神輿や青年会の夏祭りの手伝い、神社参道のライトアップ、敬老の日の手伝い等を行っています。特に敬老の日は、会員が打ったそばを120食分出しています。このそばは、地区内の休耕地を借り受けて栽培した土師産です。出し汁も公民館婦人部の手づくりのため、毎年、大変喜んでいただいています。

私たちの地域は川に挟まれ、堤防の多いところです。「美しい土師」、「きれいな土師」を目標に、堤防の除草作業にも力を入れています。また、水質浄化を目的とし、炭焼きをして田んぼの取水口に取り付けています。

土師地域の住民が、毎日、気持ちのよい暮らしができる地域づくりを目指して活動していきたいと思っています。



土師産そばの収穫



涸沼川堤防の草刈り



水質浄化に利用する炭づくり



岩間街道沿いの花壇づくり